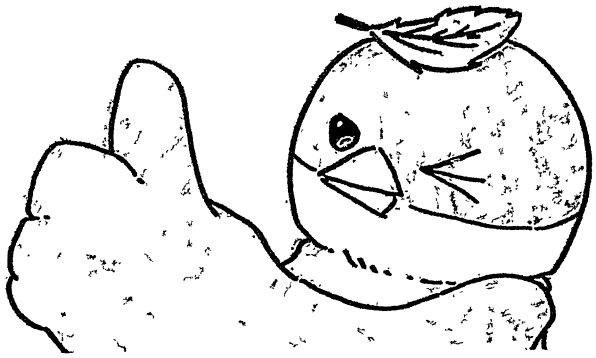
令和８年度

学習の手引き



西東京市立田無第三中学校

２年　　組　　番　氏名

～目次～

はじめに ・・・ 1

学習の心構え ・・・ 1

定期考査について ・・・ 2

定期考査規定 ・・・ 3

各教科のページ

国語 ・・・ 4

社会 ・・・ 6

数学 ・・・ 8

理科 ・・・ 10

音楽 ・・・ 12

美術 ・・・ 14

保健体育 ・・・ 16

技術 ・・・ 18

家庭 ・・・ 20

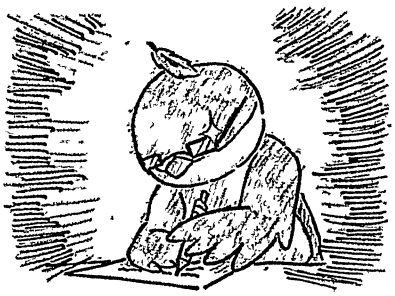
英語 ・・・ 22

はじめに

この学習の手引きは、みなさんが日々の学習をよりよく進めるためのガイドです。授業の受け方や家庭学習のポイント、定期考査に向けた取り組み方など各教科で大切にしてほしいことをまとめています。

学習は先生から教わるだけでなく、自分で考え、選び、行動することで深まります。

この手引きを参考にしながら、自分に合った学び方を見付け、主体的に学習に取り組んでいきましょう。



学習の心構え

○学びの主人公は自分

授業は「聞く時間」ではなく、「考える時間」です。
先生に教えてもらうだけでなく、自分から学び取ることを大切にしましょう。

○学びを深める５つのポイント

①わからないを大切に

- 「わからない」は成長のチャンス
- 間違えても大丈夫
- 疑問を持つことが学びのスタート

②まず自分で考える

- 予想や仮説を立てる
- 少しでも自分の考えをもつ
- すぐに答えを聞かない

③仲間と学ぶ

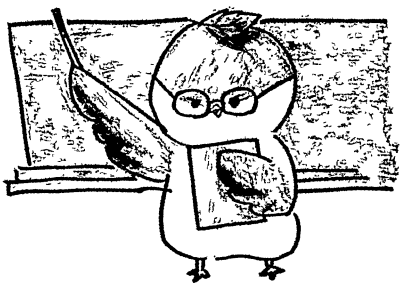
- 友達の考えを聞く
- 自分の考えを伝える
- 互いの意見を認め合う

④振り返る

- 「何がわかったか」
- 「どうやってわかったか」
  →次の学びにつなげる

⑤準備と習慣

- 忘れものをしない
- 集中できる姿勢をつくる
- 家庭学習とつなげる



○三中が大切にしている学び

- 自分の課題を見付け、解決方法を選んで、積極的に学ぶ。
- デジタルを活用するなど、意見交換することを通して、自分の学びを深める。
- 自分で学習を振り返って、学習の内容や方法を評価、改善をする。

定期考査について

定期考査の目的は、授業で学習した内容をどれだけ身に付けているのかを確認することです。また、自分の学習に取り組む姿を振り返り、目標や計画を見直したり学習方法を改善したりする機会にすることです。

定期考査は、自らの学習方法を見直し、より良い方向に改善するチャンスです。次のポイントを意識してみましょう。

定期考査を通して見直すポイント

1 学習計画を見直すこと

事前に立てた学習計画が、目標を達成するための計画であったかを振り返ります。うまくいかなかった部分があれば、時間の使い方や勉強方法を見直しして、次回に向けて、どのような学習にどのくらいの時間が効果的なのかを確認しておきましょう。

2 授業の取り組み方を見直すこと

授業に臨む姿勢について見直してみましょう。

- ○ 先生の説明や友達の発言・発表をしっかり聞いているか
- ○ 繰り返し説明や強調して指導を受けたところは何か
- ○ 授業の内容を振り返ることができるように、ノートが作られているか

3 ケアレスミスを見直すこと

テスト中の不注意なミスや計算ミスがあった場合、何が原因だったのかを振り返り、改善策を考えましょう。問題を解いた後に見直しの時間を設ける習慣を身に付けると、同じミスを防ぐことができます。

		実施日	実施教科
一学期	期末	6月17日（水） 18日（木） 19日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
二学期	中間	9月17日（木） 18日（金）	国語・社会・数学・理科・英語
	期末	11月11日（水） 12日（木） 13日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
三学期	学年末	2月22日(月)(1,2年のみ) 24日(水) 25日(木)	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家 （1，2年のみ）

田無第三中学校　定期考査規定

1　朝学活後、机の中は空にし、鞄や机脇の荷物を教室の後ろに整理して並べる。
（鞄の口は閉める）

2　予鈴までに、出席番号順の自席に座り、静かに待つ。（トイレ等も済ませておく）

3　机上には、鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム及び、各教科で指定のある用具
（定規・コンパス等）のみ出しておく。

4　下敷きは使用しない。（机上が傷ついている場合は、申し出て使用の許可を得る）

5　解答用紙や問題用紙を配り始めたら、静かに待つ。問題用紙は解答用紙の下に入れる。

6　試験監督から試験開始の指示が出たら、最初に解答用紙に学年、学級、出席番号、
氏名を丁寧に記入する。（無記名や不明瞭だと、採点されない場合もある）

7　解答用紙が大きい場合は半分に折るなど、**周りに見えないようにする。**
カンニングなどの不正行為は絶対にしない。また、疑われるような行動もとらない。
（きょろきょろと周りを見る、話しかける、物の貸し借りをする等）
※　万が一、不正行為が発覚した場合は、原則として点数はつきません。

8　試験開始時、試験で使用するものは机上に置き、机の中には何も入れない。

9　試験中、物を落とした場合は自分で拾わず、静かに手を挙げて試験監督の指示に従う。

10　試験問題で不明な点は、教科担当が回って来たときに質問する。

11　体調が悪くなった場合は、静かに手を挙げて試験監督に申し出る。
※万が一、試験中に途中退室する際は、試験監督にその旨を伝える。退室後の対応に
ついては、試験監督の指示を仰ぐ。
最後まで受験できるよう、体調管理はしっかり行うこと。

12　試験終了のチャイムが鳴ったら解答を止め、速やかに筆記用具を机上に置く。

13　試験監督の指示で、一番後ろの生徒は解答用紙を出席番号順になるように回収する。
※　その他の生徒は、着席したまま静かに待つ。

14　試験監督が、回収された解答用紙の確認を行っている間は、自席にて静かに待機する。
※　解答用紙確認時間終了のチャイムと同時に解散する。

～令和3年　5月　改定～

２学年　国　語

授業の受け方

④　**しっかり聞く・考える**…先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の意見を深めましょう。特に物語や説明文では、登場人物の心情や筆者の意図を考えましょう。

⑤　**ノートを工夫して書く**…ただ黒板を写すだけではなく、大切なポイントをまとめたり、気づいたこと、考えたことなどを書き込んだりして、後で復習しやすいノートを作りましょう。

⑥　**積極的に発言・質問する**…わからないことをそのままにせず、質問することが大切です。また、自分の意見を発表することで、理解が深まり、考える力も鍛えられます。

家庭学習のポイント

④　**漢字練習を丁寧に**…新しく習った漢字は、ただ書くだけではなく、意味や使い方も確認しましょう。また、教科書に出てくる言葉の意味を辞書で調べて、自分の言葉でまとめると理解が深まります。

⑤　**ノートの見直し・整理をする**…授業で書いたノートを見返し、大切な部分に線を引いたり、書き足して整理しましょう。ポイントをまとめておくと、理解が深まり、テスト勉強に役立ちます。

⑥　**課題や宿題にしっかり取り組む**…課題や宿題は、授業の予習・復習としてとても大切です。一言で済ますのでなく、自分の考えや意見をきちんと書くことで、国語の力が身に付きます。

定期考査に向けた取り組み方

③　**プリントを見直す**…授業で配られたプリントには、大切なポイントが書かれています。特に、登場人物の心情や説明文の要点、流れなどは大切です。

④　**漢字を確実に覚える**…漢字は覚えれば確実に点数に結びつきます。毎日コツコツ練習しましょう。教材があれば利用しましょう。何回も書いて覚えることが重要です。

③　**ワークをしっかり活用する**…ワークは一通り解きましょう。その際、記号問題も記述問題も、答えの確認だけでなく、どうしてその答えになるのか考えると実力を磨くことができます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能…学年に応じた漢字・文法の知識、文章の理解、表現の技能を身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
思考・判断・表現…文章を深く考える力。自分の意見を表現する力。複数の文章、意見を関連させて考える力。自分の意見を表現する力。それらが身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
主体的に学習に取り組む態度…自分の考えをもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。学習の見通しをもち、工夫する姿勢と、振り返りを行い、学びを深めようとしているか。	定期考査、提出物の状況、取り組む姿勢

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評方法
1	見えないだけ アイスプラネット 枕草子 クマゼミ増加の原因を探る 短歌に親しむ 言葉の力 デジタル市民として生きる 意見を聞き、整理して検討する 魅力的な提案をしよう 情報整理のレッスン 短歌の創作教室 短歌を味わう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書Ｐ６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
2	ヒューマノイド 字のない葉書 月夜の浜辺 平家物語「平家物語」の世界／扇の的 仁和寺にある法師「徒然草」から 漢詩の風景 君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 「自分らしさ」を認め合う社会へ 表現を工夫して書こう 聞き上手になろう 適切な根拠を選んで書こう 人物の特徴を捉えて論じよう 思考のレッスン１根拠の吟味 思考のレッスン２　具体と抽象 話し合い（進行） 立場を尊重して話し合おう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書Ｐ６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
3	走れメロス 鍵 描写を工夫して書こう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書Ｐ６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況

2学年　社　会

授業の受け方

① <u>先生の話をよく聞き、スライドをよく見よう。クイズは必ず参加しよう。</u>
社会は覚えることが多い教科ですが、理解することが覚えやすくする第一歩です。
「なるほど！」、「そうなんだ」と思える瞬間を授業中に少しでも多く作りましょう。

② <u>ノートは自分のための参考書。ノート作りをこだわろう。課題は、まず自分で取り組む。</u>
＜考えよう＞＜資料を読み取ろう＞などの課題は、まずは書きましょう。最初から満点を目指す必要はありません。間違いを恐れず、みんなで意見をブラッシュアップする授業を作っていきましょう。

③ <u>多様な学習活動で、自分が活躍できる場面を作ろう。</u>
ノートをきれいにまとめる、意見を発表する、わかりやすいスライドを作る、わかりやすく説明する、班の話し合いをまとめる…自分が得意なところを見つけ、どんどん生かしましょう。

家庭学習のポイント

① 【興味を持つ】 社会の授業に関することは、日々の生活の中でたくさんあります。歴史や地理の内容はテレビ番組、本、漫画など様々なメディアで扱われています。それらを利用して、興味が持てる分野を増やしましょう。

② 【復習を大切に】 予習は特に必要ありません。社会は、復習を重点的に行うとよい教科です。
ノートを大切にしましょう。プリントのやり残しがないか確認し、早めに仕上げましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 【理解する】授業の内容を思い出しましょう。教科書やノートを見返して、学習した内容を再度確認し、分からないところはそのままにせず、自分で調べたり、先生や周りの人に聞くようにしましょう。

② 【整理する・覚える（インプット）】重要なところを整理したメモを自分で作成しましょう。ノートの余白を使ったり、レポート用紙などに書くとよいです。歴史なら年表、地理なら図や表にまとめるなど、見やすくまとめると覚えやすくなります。重要語句はまずは暗唱するとよいです。しかし、難解な漢字もあるので、必ず一度は書いて確認する（覚える）こともしましょう。

③ 【確認する（アウトプット）】ワークを繰り返しときましょう。１回ではなく複数回やりましょう。３回目以降は間違えた問題だけにするなど、効率的に取り組むとよいでしょう。記述問題は、模範解答をそのまま覚えるのではなく、まずは自分の力で書きましょう。自分が書いた文章で合っているかわからないときは先生に聞きましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 地理・歴史で取り扱った内容を理解し、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	定期考査の状況 小テストの状況
思考・判断・表現 地理・歴史における課題の解決に向けて、思考・判断したことを説明したり、議論する力を身に付けているか。	定期考査の状況 探究課題・学習課題の状況 授業中の取り組み状況
主体的に学習に取り組む態度 より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしているか。	定期考査の状況・定期考査振り返りレポートの状況 探究課題・学習課題・授業中の取り組み状況 振り返りシートの状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	【地理的分野】 第３部　日本のさまざまな地域 第１章　地域調査のしかた　4 第２章　日本の地域的特色　9 第３章　日本の諸地域 １　九州地方 ２　中国・四国地方 ３　近畿地方 ―１学期期末考査― 【歴史的分野】 第４章　近世の日本と世界 １節　結びつく世界との出会い	・地形図の使い方 ・ルートマップの作り方 ・日本の自然環境、人口、産業の特徴を資料から読み取る。 ・各地方における地域の特色やその特色と地域にみられる課題との関係をとらえる。 ・ヨーロッパの中世から近世への変化を知り、それが日本にもたらした影響を理解する。	②③学習課題 ②③探求課題 ③振り返りシート ①②③定期考査 ②③ノートの記載内容 ③ワークの記載内容 ③定期考査の振り返り
2	２節　天下統一への歩み ３節　幕藩体制の確立と「鎖国」 ―２学期中間考査― ４節　経済の成長と幕政の改革 【地理的分野】 ４　中部地方 ５　関東地方 ―２学期期末考査― ６　東北地方 ７　北海道地方 第４部　地域のあり方	・戦国時代の天下統一に向けた歩みと幕藩体制について理解し、江戸幕府の支配が約260年間続いた理由を考察する。 ・各地方における地域の特色やその特色と地域にみられる課題との関係をとらえる。 ・地域調査の手法を学ぶ。	②③学習課題 ②③学習課題 ③振り返りシート ①②③定期考査 ②③ノートの記載内容 ③ワークの記載内容 ③定期考査の振り返り
3	【歴史的分野】 第５章　日本の近代化と国際社会 １節　近代世界の確立とアジア ２節　開国と幕府政治の終わり ３節　明治維新と立憲国家への歩み ―学年末考査― ４節　激動する東アジアと日清・日露戦争	・欧米諸国の近代化について理解し、それが日本にもたらした影響について考察する。	②③学習課題 ②③探求課題 ③振り返りシート ①②③定期考査 ②③ノートの記載内容 ③ワークの記載内容 ③定期考査の振り返り

２学年　数学

授業の受け方

① まずはしっかり授業の話を聞くことを第一に授業を受けよう！
ノートやプリントを書くことに必死になり、話を聞いておらず、理解できなかったということになりがちです。そうならないようにするために、話をしっかり聞くことを大切にしましょう。

② わからないところはすぐに解決！
理解できていないところはそのままにすると、授業にどんどんついていけなくなってしまいます。授業後の休み時間等、先生や友達に質問して、解決することを心がけましょう。

③ 忘れ物をしないように！
教科書、ノート、ワーク（わかる数学②）、ファイル、クロムブックを毎回の授業で持ってきましょう。また、図形の単元では、直定規やコンパスが必要になります。

家庭学習のポイント

その都度の復習を大切にしよう！
授業で学習した内容の範囲のワーク（わかる数学①）を次の授業がある日までに解き、答え合わせ・間違えた問題のやり直しをするように習慣づけましょう。数学は積み重ねの教科です。ワークを解くことで授業内容の理解度を確認することができ、前日までの授業内容を理解した状態で、次の授業を受けることができるようになります。

定期考査に向けた取り組み方

① 必ず答え合わせとやり直しを！
ワーク（わかる数学①）を解き、間違えた問題はきちんと解きなおしをしましょう。解いて終わりにしてしまうと、解き方を間違えて理解してしまっていることがあります。必ず答え合わせをし、正しい解き方を理解しておくことが大切です。

② 何度も繰り返し練習を！
何度も何度も繰り返し問題を解くことで、スピードと正確性が身についていきます。すらすらと解けるようになるまで繰り返し問題を解くようにしましょう。

③ 語句や言葉の意味を正しく理解しよう！
語句や言葉の意味などは授業ノートや教科書を使って正しく理解しておきましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能	・定期テスト、小テストの状況 ・授業の取組状況
② 思考・判断・表現	・定期テスト、小テストの状況 ・テストなおしの取組状況 ・授業の取組状況
③ 主体的に学習に取り組む態度	・定期テスト、小テストの状況 ・授業、ワーク、ドリル、テストなおしの取組状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	1章　式の計算	・式の計算 ・文字式の利用	・定期テストや小テストの状況 ・授業の取組状況 ・ワーク、ドリル、テストなおしの取組状況
	2章　連立方程式	・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の利用	
2	3章　1次関数	・1次関数 ・1次関数の性質と調べ方 ・2元1次方程式と1次関数 ・1次関数の利用	・定期テストや小テストの状況 ・授業の取組状況 ・ワーク、ドリル、テストなおしの取組状況
	4章　平行と合同	・説明のしくみ ・平行線と角 ・合同な図形	
	5章　三角形と四角形	・三角形 ・平行四辺形	
3	6章　確率	・確率 ・確率による説明	・定期テストや小テストの状況 ・授業の取組状況 ・ワーク、ドリル、テストなおしの取組状況
	7章　データの比較	・四分位範囲と箱ひげ図	

２学年　理科

授業の受け方

① その時間の課題をや目標を意識して、学ぼうという気持ちをもって授業を受けましょう。

② みんなで意見を共有するときは自分の意見を、失敗を恐れずに積極的に発表しましょう。

③ 授業の最後には、学んだことを振り返り、わからないことがあったときは、その日のうちに友達や先生に聞きましょう。

家庭学習のポイント

① その日に学んだノートやスライドを見返し、教科書を一読しましょう。

② 余裕のある人はその日に学んだところのワークの問題に取り組みましょう。

③ 日々、復習を継続することが大切です。無理せずできる範囲で続けていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① テスト範囲の教科書のページを理解するまで読み込みましょう。

② ワークは最低２回取り組みましょう。間違えた問題はわかるまで解きなおしましょう。

③ 計算に必要な公式、作図の方法、重要語句は内容を理解し、必ず覚えましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 パフォーマンステストの状況
②思考・判断・表現 自然の事物・現象から問題を見いだし、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 提出物の記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしているか。	授業の取組状況 提出物の記載内容

年間学習評価計画

理 科

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	単元１　化学変化と原子・分子 第１章　物質のなり立ち 第２章　物質どうしの化学変化	・ホットケーキの秘密、水の分解、物質をつくっているもの分子と化学式、単体と化合物・物質の分類 ・異なる物質の結びつき、化学変化を化学式で表す	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ①パフォーマンステストの状況 ③授業の取り組み状況
2	第３章　酸素がかかわる化学変化 第４章　化学変化と物質の質量 第５章　化学変化とその利用 単元４　電気の世界 第１章　静電気と電流	・物質が燃える変化酸化物から酸素をとる化学変化 ・化学変化と質量の変化、化学変化する物質どうしの質量の関係 ・化学変化と熱 ・静電気と放電、電流の正体放射線の性質と利用	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③　授業の取り組み状況
3	第２章　電流の性質 第３章　電流と磁界	・回路のつなぎ方、回路に流れる電流、回路に加わる電圧電圧と電流の関係、電気エネルギー ・電流がつくる磁界、電流が磁界から受ける力、発電のしくみ、直流と交流	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況

理 科

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	単元２　生物のからだのつくりとはたらき 第１章　生物と細胞 第２章　植物のからだのつくりとはたらき	・植物の細胞、動物の細胞、生物のからだと細胞 ・葉と光合成、光合成に必要なもの、植物と呼吸、植物と水、水の通り道	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ①パフォーマンステストの状況 ③授業の取り組み状況
2	第３章　動物のからだのつくりとはたらき 第４章　刺激と反応 単元３　天気とその変化 第１章　気象の観測	・消化のしくみ、吸収のしくみ、呼吸のはたらき、心臓のはたらきと血液の循環、排出のしくみ ・刺激の受けとり、神経のはたらき、骨と筋肉のはたらき ・圧力と大気圧、気圧と風、気象の観測、水蒸気の変化と湿度	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況
3	第２章　雲のでき方と前線 第３章　大気の動きと日本の天気	・雲のでき方、気団と前線 ・大気の動きと天気の変化、日本の天気と季節風、日本の天気の特徴、天気の変化の予測、気象現象がもたらすめぐみと災害	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況

２学年　音楽

授業の受け方

① 音楽の授業の基本は、「聴く」ことです。音楽に耳を傾け「聴く」、先生の話を真剣に「聴く」ことです。そこから音楽の深い世界に入っていきましょう。
② プリントの記入は、自分なりによく考えて、丁寧に記入しましょう。
③ 歌うときには表現の意図をもち、恥ずかしがらずに自分なりの表現を心がけましょう。
④ 持ち物は、教科書、コーラスフェスティバル、ファイル、筆記用具の４点セットです。プリントファイルを失くした人は、自分で用意してください。

家庭学習のポイント

① ジャンルを問わずいろいろな曲を聴いて心を耕してください。
折に触れ「知覚」と「感受」を関連付けた聴き方をしてみてください。
② 楽器を習っている人は、たくさん練習をして上達してください。
③ 音楽は“心”で感じるものです。心を耕すために、読書や映画、絵画など質の高い芸術に親しみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 定期考査は学期ごとに１回ずつ、年間で３回行います。また、実技テスト（歌のテスト）を原則学期に１回行います。
② 授業で扱ったプリントを、教科書や楽譜（コーラスフェスティバル）と照らし合わせて復習してください。
③ 定期テストと日頃の授業の取り組み（プリントや実技テスト）を５：５で評価します。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 曲想や音楽の構造、背景などとの関りを理解する。 音楽表現を創意工夫したり音楽の良さを味わって聴く能力を身に付ける。 音楽表現を生み出すための発声や発音などの技能を身に付ける。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況 実技テストの状況
②思考・判断・表現 音楽を形づくる要素を知覚し特徴や雰囲気を感じ取る。曲の表現を工夫し自分の考えをもつ。 音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で表す。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況
③主体的に学習に取り組む態度 音楽や音楽文化に親しめるよう、音楽活動を楽しんで取り組んでいる。音楽活動に粘り強く取り組み、自己調整しながらより良い音楽を求めていこうとしている。	日頃のプリントの記載内容 授業への取り組み状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	合唱 鑑賞 歌唱 合唱コンクールの取り組み	夢の世界を 翼をください 「運命」 夏の思い出 浜辺の歌 課題曲「時の旅人」 自由曲決め	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
2	鑑賞 歌唱 創作 合唱コンクールの取り組み	「勧進帳」 サンタルチア 言葉を使った音楽つくり 課題曲「時の旅人」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
3	合唱コンクールの取り組み	課題曲「時の旅人」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト

2学年 美 術

授業の受け方

① **先生が全体に話す時は前を向いて顔を上げ、静かに話を聞きましょう。**
美術の授業は制作がメインですが、話しを聞いていないと何をやるのかわからなくなってしまいます。制作中であれば一度手を止めて、しっかりと話を聞きましょう。

② **不必要な立ち歩きはしない。**
教室の前後に貸し出し用の用具を準備しています。それらを取りに行ったり、水を取り替えに行ったりすること以外で席を離れる場合は、必ず先生に声をかけてください。

③ **丁寧な制作を心掛ける。一生懸命取り組む。完成させる。**
美術の能力の一部は授業中に制作を積み重ねていくことで確実に向上します。また、素早く作業を終えれば良いというわけではありません。丁寧に、全力で取り組みましょう。

家庭学習のポイント

① **視野を広げましょう。**
美術館へ行く、画集を読む、映画を観る、音楽を聴く、読書をする、新聞を読む等、知識を身に付け視野を広げることを何かしらしてください。発想の幅が広がります。

定期考査に向けた取り組み方

① **定期考査は、観点 1(100)、観点 2(100)の 200 点中 50 点分として扱います。**
制作だけではなく、試験の点数もしっかり取れるよう勉強してください。また、『漢字で書きなさい』という問題が出る場合もあります。テスト範囲の内容は漢字まで覚えるようにしてください。

② **描く課題が出る場合もあります。**
知・技を問う問題であれば、テスト前に自分でもう一度やり方を確認し、最低 1 回は描いてみてください。思・判・表を問う問題は視野を広く持つことが大切です。『家庭学習のポイント』をヒントにし、日々、発想力を高めておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりすることができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
主体的に学習に取り組む態度 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 授業中の取組状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	[デザイン] 「自己キャラクターをデザインしよう」 [デザイン] 「プレゼンテーションボードをつくろう」	・自分の性格や興味・関心、特徴などをもとに発想を広げ、キャラクターとしての表現方法を考える。形や色彩、デフォルメ、象徴的な要素などを工夫し、見る人に伝わりやすいデザインを構想・制作することで、自己表現のよさや楽しさを理解する。 ・自分が制作したキャラクターの特徴やコンセプトを整理し、見る人に分かりやすく魅力的に伝えるための構成を考える。文字情報と視覚情報(イラスト・図)の関係や配置、色彩などを工夫し、伝達性の高いプレゼンテーションボードを制作することで、デザインの役割や効果を理解する。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
2	[デザイン] 「キャラクターのフィギュアをつくろう」		①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
3			①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況

２学年　保健体育

授業の受け方

① 声と身体を大きく使い、基礎体力と運動技能を高めましょう

毎時間行うウォーミングアップ（集団走・体操・補強）で基礎体力をつけ、様々な運動種目の技能を高めることで、運動やスポーツを本気で楽しめるようにします。

② 仲間とたくさん話し合い、アドバイスし合いましょう

どの運動種目においても、仲間と協力することがとても大切です。身に付けた知識をもとにお互いの運動を観察し、意見を出し合い、深めていきます。

③ 授業をしっかりと振り返って記述しましょう

めあてに対して、自分や仲間の取り組みはどうだったかを振り返って学習カードに書くことで、自分の考えをまとめていきます。具体的に記述することが大切です。

家庭学習のポイント

運動やスポーツを楽しいと思えることが大切です。また運動やスポーツには「する」「みる」「支える」「知る」といった楽しみ方があります。自分にあった楽しみ方を見つけましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 「中学体育実技」をよく読み、各運動種目の歴史や文化、特性を確認しておいてください。

②各運動種目のルールについては、授業中のゲーム内の取り組みと併せて、「中学体育実技」に記載されている公式ルールや正式名称も確認してください。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 運動の楽しさや喜びを味わい、その必要性を理解し、基本的な技能を身に付けているか	授業中の取り組み状況 単元テストの状況 実技チェックの状況
②思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝える力を身に付けているか	授業中の取り組み状況 学習カードの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 公正に取り組み、互いに協力し、自己の責任を果たしたり参画したりしようとしているか	授業中の取り組み状況 自律的に健康を管理している状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	体つくり運動 陸上競技 水泳 体育理論 保健	新体力テスト 短距離走、リレー クロール、平泳ぎ、背泳ぎ 背泳ぎ 運動やスポーツの体と心への効果 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	実技テスト 学習カード、レポート、期末考査
2	ゴール型　球技 武道　　柔道 陸上競技 ダンス 体育理論 保健	フラッグフットボール 礼法、受け身、固め技、投げ技 長距離走 運動やスポーツの学び方 傷害の防止	実技テスト、学習カード 期末考査
3	ゴール型　球技 陸上競技 ゴール型　球技 体育理論 保健	バレーボール 走り幅跳び サッカー 運動やスポーツの安全な行い方 生活習慣病とがん	実技テスト、学習カード 学年末考査

２学年　技　術

授業の受け方

① 「安全が第一優先」を心がける。

木工室・金工室にはたくさんの機械や工具が置いてあります。正しい使い方をすれば便利なものですが、使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。特に実習時は、安全を最優先に授業を受けるようにしましょう。

② 授業中の私語はつつしむ。

教室と違い、向かい合わせの机で授業を受けます。となりや向かいの人との距離がとても近い環境です。授業に関係のないおしゃべり等で、周りに迷惑をかけないようにしましょう。ただし、作業時は、仲間とコミュニケーションをとりながらの授業で大丈夫です。

③ 時間を守る

基本、木工室が金工室で授業を行います。教室移動となるので、チャイムが鳴った時には必ず自席に座っていることを心がけましょう。

家庭学習のポイント

① 特に家庭学習を行う必要はありません。

ものづくりや電気の知識また情報を扱い方等、学習した内容を家庭生活に生かしていきましょう。長期休業時に出題される課題は、必ず自分の力で行ってください。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で説明した内容が試験範囲となります。試験前にノートや配布されたプリントを中心に復習しておく。作業についての問題も出題されることもあります。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
①知識・技能 エネルギー変換の分野で、発電の仕組みや問題点などを理解しているか。また、電気の基本知識、また危険性や有効活用等を理解したうえで、作品を製作することができているか。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度
②思考・判断・表現 自らの課題を見い出し、見通しをもって作業を行い、探究して表現できているか。自分の工夫やアイディアを取り入れた作品を製作し、製作の過程や結果の評価・改善について考えているか。	・定期考査の状況 ・作品に対する工夫やアイディアの状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容やまとめ方 ・ワークシートの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 主体的に技術に関する知識技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしているか。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	・エネルギーの変換の技術 発電の仕組みと特徴	発電方法の最適化 電気を供給する仕組み 光エネルギーへの変換と利用 照明器具のしくみ	③授業観察 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査
2	電気回路の設計と製作 電気回路の仕組み 作品製作 電気機器を安全に使用するための技術	 電気機器の安全な使い方 はんだづけ作業 工具や機器の適切な使用 安全に使うための工夫	③授業観察 ①製作作品 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査
3	情報通信ネットワークの仕組 情報モラル ・生物育成の栽培	インターネットを利用した適切な情報収集 作物の育成環境を調節する技術	③授業観察 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査

２学年　家庭科

授業の受け方

① 通常の持ち物は教科書と家庭科ノート（ワーク）です。準備して着席しましょう。
② 学習内容をしっかりワークや配布プリントに記入し、日常生活で実践することを念頭に入れて学んでいきましょう。
③ 授業は常に誠実に取り組み、質問や発表を積極的にしていきましょう。

家庭学習のポイント

① 宿題が出たときは忘れずに。また、提出日を守りましょう。
② 教室や調理室で学んだことを家庭で実践してみて、知識・技能を確かなものにしていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書、ワーク、プリントを復習し理解して、大事なところは覚えておきましょう。
② 製作実習がテスト範囲の場合、製作方法、製作過程をよく理解しておきましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能 衣生活、消費生活を豊かするための役割や方法や理解し、生活の自立に必要な知識・技能が身についているか。	定期テストの状況、 玉結びやミシン操作の実技テスト
② 思考・判断・表現 生活の自立に必要な知識・技能を習得し、考察して的確に表現する力が身についているか。	ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 定期テストの状況、授業中の取り組み状況
③ 主体的に学習に取り組む態度 製作実習の楽しさを実感して根気強く取り組み、生活に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしたりしているか。	作品の出来ばえと進度状況・提出状況 実習レポートの記載内容、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況

年間学習評価計画

月	題材名	学習内容	主な評価方法
4 5	衣服の選択と手入れ ①衣服の役割 ②私らしさとT.P.O. -着方の工夫- ③日本の衣服の文化 ④衣服の手入れ①-衣服の補修- ⑤衣服の手入れ② -衣服の洗濯と保管- ⑥衣服計画と必要な衣服の選択	・衣服と社会生活とのかかわり、目的に応じた着用や個性を生かす着用について理解する。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ（補修、洗濯と保管）について課題を設定し解決方法を考え実践する。 ・衣服の計画的な活用、適切な選択	定期テストの状況、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容
6 7 9 10	作って楽しい布作品 ①製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察する。	定期テストの状況、 玉結びやミシン操作の実技テスト 作品の出来ばえと進度状況・提出状況 実習レポートの記載内容
11	持続可能な衣生活 持続可能な衣生活を目指して	持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	ワークの記載内容、配布プリントの記載内容
12 1	私たちの消費生活 ①消費者としての自覚 ②購入方法と支払い方法 ③バランス良く計画的な金銭管理 ④消費者トラブルとその対策	・購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理について理解する。 ・売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報を収集・整理し、物資やサービスの購入を工夫する。	定期テストの状況、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容
2	責任ある消費者になるために ①何を考えて決めますか-意思決定のプロセス ②消費者としてできること-権利と責任-	・消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 ・自立した消費者としての消費行動を工夫する。	定期テストの状況、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容
3	持続可能な消費生活 ①省エネルギーと持続可能な社会 ②持続可能な消費生活を目指して	持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	ワークの記載内容、配布プリントの記載内容

２学年　英語

授業の受け方

① 指示された授業道具を忘れずに持ってきましょう。タブレットは充電しておきましょう。
　２年教科書、１年教科書、ファイル、ノート、タブレットといろいろな道具を使います。
② 英語の発音やｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ活動、発表活動、ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ等に、積極的に取り組みましょう。
　授業は「聞く」のではなく、「参加」することが大事です。
③ 授業用ノートの予習、ワークでの復習、英作文などの課題をやると、授業の理解が進みます。

家庭学習のポイント

① 宿題をやりましょう（授業用ノートに予習など）。
② 習った単語や文は、自主学習ノートやタブレットを使い何度も練習しましょう。
③ 文法問題や演習は、ワークを使って復習しましょう。
④ Qulmee を使い、教科書の音読をしましょう。何度も練習し、良い発音になるようにしましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書の単語、基本文などは、聞いたり読んだりしてわかるように練習しましょう。
　ワークのデジタルコンテンツや Quizlet も活用しましょう
　教科書本文は、授業のノートを見返したり、Qulmee で繰り返し音読し、定着させましょう。
② ワークを繰り返しやりましょう。ワーク本体に書きこまず、付属ノートを使用して複数回取り組みましょう。
③ 習った単語や文を使い、自由自在に表現できるくらいに、自主学習ノートやタブレットで練習しましょう。教科書の単語や基本文、文法はとても重要です。繰り返し練習しましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 文法や語彙などを理解し、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝで活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	定期考査の状況　スペリングコンテスト、小テストの状況、web テストの状況、プリント記載内容など
②思考・判断・表現 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを行う目的や状況などに応じて、自分の考えなどを的確に表現したり伝え合う力を身に付けているか。	定期考査の状況　授業での活動状況 パフォーマンステストの状況 英作文記載内容など
③主体的に学習に取り組む態度 主体的にｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとするため、粘り強く取り組み、自分で過程を振り返ったり、振り返って評価・改善しようとしたりしているか。	単語テストなどの小テストの点数の状況、音読アプリへの取り組み状況、振り返りカード記載内容、授業用ノートなどの記載内容、パフォーマンステストの状況、授業での取り組み状況など

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 What can we experience on a trip? Unit 2 What is a local food? Unit 3 What kind of job are you interested in? Stage Activity 1 Let 's Read 1 History of Clocks	過去形 be going to～, will～ <show＋人＋もの> <call A B>の文 接続詞 when, if, because, that To 不定詞（目的、感情の原因、するべきことなど） 好きな日本食について 時計の歴史について	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りカード 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など
2	Unit 4 What is important in a homestay? Unit 5 What design is good for everyone? Unit 6 How can we make a good presentation? Stage Activity 2 Let's Read 2 A Glass of Milk	have to～、must 動名詞 <疑問詞＋to～> <主語＋be 動詞＋形容詞＋that～> 比較表現 自分の学校や学校生活について紹介する 物語を読み取り、英語劇で表現する	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りカード 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など
3	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? Stage Activity 3 Let's read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	受け身表現 Discussion で意見を述べる ある人物の生涯について英語で読み取る	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りカード 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など